

第 49 回

海外視察 in Australia（中編）

皆さん、こんにちは。札幌オフィス所属 J3 の N.S です。前回に続き、今回は海外視察で特に印象に残った事を紹介させていただきます。

博物館にて。オーストラリアで採れるオパール等、鉱物の展示。



海外視察ではオーストラリアと日本の労働環境の違いについて学んできました。オーストラリアの

会計士協会や監査法人には、日本では滅多に見ないような立派なコーヒーマシンやキッチンがある…というのは冗談で、日本の監査法人に比べ、残業時間が短い理由についてお話を伺いました。日本の監査法人での監査の経験もある方は、「オーストラリアは日本に

比べて締め切りに寛容で、日常的にプライベートを優先させやすい。」と話されていました。例えば、木曜までのタスクがあったとしても、「先方は早くても金曜の朝頃に確認するだろうから、それまでに完了すれば良いだろう。」と考え木曜は残業をせず定時に帰宅し、金曜の朝にタスクを完了させるといった事も往々にしてあるそうです。また、金曜の午後に会議をする事はほとんどないそうで、金曜の午後はその週で残った個人の業務を終わらせる時間とし、金曜は定時に帰って週末は一切仕事をしない人が多いともお話しされていました。多少とはいえ締め切りを過ぎる事は日本では許されないような気がしましたが、こうした考え方もある事を学び、私は視野が広がったように思いました。

ところで、アークでの平均残業時間をご存知でしょうか。各個人でバラつきこそありますが、総じて業界の平均より圧倒的に少ないです。私個人の話をすれば、繁忙期を除き、年の大半は定時に帰ります。そのため

オーストラリアで「あなたは毎月どのくらい残業をしているの？」と聞かれても、私の場合はほとんどしないと答えるしかなかったほどです。アークはワークライフバランスを大切にする法人だからだと説明すると、それは良い法人を選んだねと言ってくださいました。